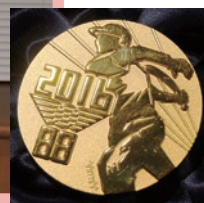


ともに生き、ともに育むまち  
歴史と文化がくらしの中に息づく  
”新斑鳩の里“

## 納大地君、高島堅太君、 智辯学園高等学校 春のセンバツ優勝おめでとう！



第88回選抜高等学校野球大会で、奈良県代表の智辯学園高等学校が初優勝！  
同校野球部員の納大地君(右)、高島堅太君(左)は、斑鳩南中学校の卒業生です。  
4月7日、小城町長が智辯学園高等学校を訪問し、選手の健闘をたたえるとともに、斑鳩南中学校  
からのお祝いメッセージをお届けしました。  
納大地君、高島堅太君、おめでとう！今後、ますますのご活躍を期待しています！

- 2 平成28年度予算  
—— 特集
- 8 まちの話題
- 10 いにしえの風〜斑鳩文化財センターだより〜
- 11 バゴちゃんの地球となかよし
- 12 斑鳩町既存木造住宅耐震診断・耐震改修支援事業のご案内
- 14 まちの情報
- 17 定期監査の結果
- 18 ほけんだより
- 20 図書館だより

2016  
5  
No. 608

# 平成28年度予算が きまりました

一般会計予算

86億5,000万円 (前年度比 2.6%増)

問合せ 財政課 (☎内線253)

住みたい、住んでよかった、住み続けたい！  
「まちづくりをすすめるまちづくり」をめざして

平成29年2月に、「斑鳩町」が誕生してから70周年という記念すべき年を迎えます。戦後の復興期から経済の目覚ましい発展とともに、私たちの町の姿は大きく変わってまいりました。

しかし、悠久の昔より詠われた風光明媚な自然、そして比類なき歴史の遺産は常に変わることなく、聖徳太子ゆかりの斑鳩のまちに住むことの誇りの源となっております。

先人が築かれた文化や歴史を、たゆまず継承し、さらなる進展を成して、未来の主役である若者たち、さらに子どもたちに引き継いでいくための取り組みを進めてまいります。

平成28年度では、このような思いを念頭に、子どもたちの健やかな心身の育成の支援や、子育て世代が斑鳩町に住んでみたいと思っていただけのような施策の推進に努めてまいります。

さらに、新たな人材・産業の育成の支援、観光の活性化などを含む既存資源の活用により、賑わいに満ち満ちた「まち」魅力あふれる「まち」の姿を描いてまいりたいと考えております。

まず、教育・子育て施策については、児童生徒個々の学力にあわせて

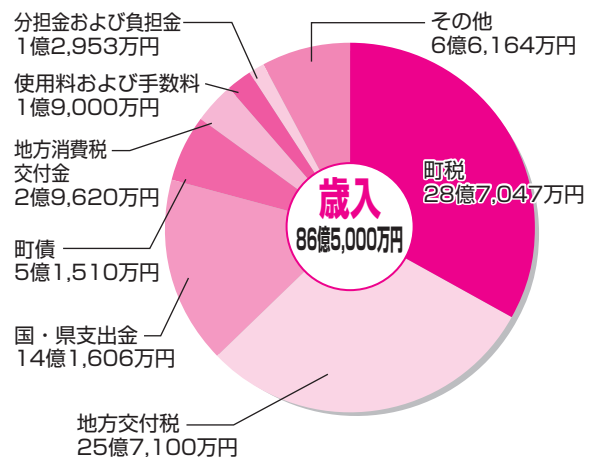
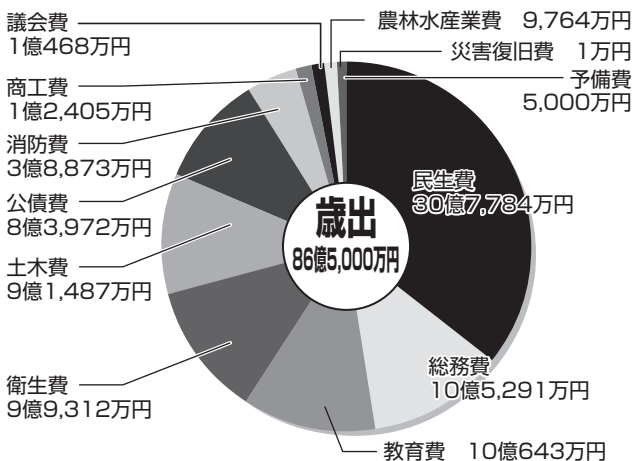
学習支援事業を開始し、基礎学力の定着をはかります。また、助産師などによる、妊娠中から育児中までの継続的な相談事業を行うとともに、スマートフォンを活用した子育て応援アプリを導入することで、安心して子どもを産み、親と子が健やかに暮らすことができるまちづくりに取り組んでまいります。

また、観光産業振興施策については、観光振興事業の展開の方向性を定めた(仮称)観光戦略を策定し、本町の観光資源を生かした散策・回遊・着地型観光への転換を引き続き推進してまいります。

このまちを誰よりも愛する一人の住民として、「住みたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える「愛すべきふるさと斑鳩」を実現するため、住民みなさんとともに力をあわせ、信念と情熱をもって全力で取り組んでまいります。



小城利重町長



■ 平成28年度会計別予算

会計名	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	86億5,000万円	84億3,000万円	2億2,000万円	2.6%	
特別会計	77億7,800万円	77億9,010万円	△1,210万円	△0.2%	
特別会計の内訳	国民健康保険事業	36億6,010万円	37億7,050万円	△1億1,040万円	△2.9%
	公共下水道事業	13億7,190万円	13億9,000万円	△1,810万円	△1.3%
	介護保険事業 (保険事業勘定)	23億5,330万円	22億7,430万円	7,900万円	3.5%
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1,130万円	—	1,130万円	皆増
	後期高齢者医療	3億8,140万円	3億5,530万円	2,610万円	7.3%
一般・特別会計合計	164億2,800万円	162億2,010万円	2億790万円	1.3%	
水道事業会計	10億7,276万円	11億2,034万円	△4,758万円	△4.2%	
総合計	175億76万円	173億4,044万円	1億6,032万円	0.9%	

(注) 介護保険事業特別会計においては平成28年4月1日から地域包括支援センターを直営とし、指定介護予防支援事業を実施することから、介護サービス事業勘定を設置します。

平成28年度予算を1か月の家計に例えてみると…

町の財政が家の家計だったらどうなるのでしょうか。  
斑鳩町の家計簿は、斑鳩町の一般会計予算額を、人口28,259人  
(平成28年1月1日現在)で割った数字を、1か月の家計簿に例  
えています。



● 1か月の総収入額…30万6千円

斑鳩家の収入	収入額 (円)	構成比 (%)	〈参考〉 平成26年度 決算 (円)	
給料	102,000	33.3	102,000	町税
雑収入(内職・パート 収入や不動産収入、貯 金の取崩し)	18,000	5.9	15,000	使用料および手数料
				繰入金
前月からの繰越金	9,000	2.9	27,000	その他の収入
親せきからの援助	159,000	52.0	154,000	繰越金
				地方交付税
				国庫支出金
				県支出金
新たな借入金	18,000	5.9	20,000	地方消費税交付金
合計	306,000	100.0	318,000	その他の交付金
				町債

● 1か月の総支出額…30万6千円

斑鳩家の支出		支出額 (円)	構成比 (%)	〈参考〉 平成26年度 決算 (円)	
生活費	食費	54,000	17.7	54,000	人件費
	医療費、教育費など	50,000	16.3	46,000	扶助費
	ローンの返済	30,000	9.8	35,000	公債費
その他の 生活費	光熱水費、消耗品費など	68,000	22.2	62,000	物件費
	家の修繕費	5,000	1.6	4,000	維持補修費
	自治会費、 スポーツクラブ会費など	34,000	11.1	33,000	補助費等
	貯金	1,000	0.3	1,000	積立金
家の 増改築費	子どもへの仕送り	42,000	13.7	37,000	繰出金
その他	家の増築費用	20,000	6.6	29,000	普通建設 事業費など
	来月への繰越金	2,000	0.7	17,000	歳計剰余金
合計		306,000	100.0	318,000	

■ 財政用語辞典

歳入

**地方交付税** 所得税など国が徴収する税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金

**地方消費税交付金** 地方消費税(消費税8%のうち1.7%)

**町債** 大きな事業を行うために、国、金融機関などから借り入れるお金

歳出

(目的)

**民生費** 高齢者・障がい者・児童福祉サービスなどに使うお金

**衛生費** 健康診断やごみ処理などに使うお金

**商工費** 商工業の振興、観光事業などに使うお金

**土木費** 道路整備や浸水対策などに使うお金

**教育費** 幼稚園・小中学校の運営や、公民館など、教育の振興のために使うお金

**公債費** 町債(借入金)を返済するために支払うお金

(性質)

**扶助費** 児童手当、子ども・老人・重度障がい者の医療費助成金など

**補助費等** 各種事業や団体への補助金や負担金など

**繰出金** 国民健康保険などの特別会計へ繰り出して使うお金など

**普通建設事業費** 道路の整備などに使うお金

# 平成28年度の主要事業

第4次斑鳩町総合計画の基本施策の柱に沿って、平成28年度の主要な事業を紹介します。

なお、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策として、国の平成27年度補正予算の具体的施策である「地方創生加速化交付金」などを活用し、観光振興や子育て・まちづくりなど、今後の地方創生の主要な事業の一部を平成27年度予算に補正対応（1億6,530万6千円）することで前倒しして予算化しています。



これまでの、そしてこれからの歴史まちづくりについて、住民のみならずとともに考え、気運を高めていくため、歴史的風致維持向上計画の認定を受けた都市や歴史まちづくり先進都市の首長をお招きし、町制70周年記念事業として（仮称）歴史ま



学校教育では、「育てよう和の心」を教育理念とし、協調性を重んじる心を育てます。

学力および学習意欲向上のため、小・中学校などの施設を利用して、学習支援員により児童生徒の個々の能力に応じた学習支援を行います。

（202万円）

## 1

**文化の香り高く  
心豊かなまちづくり**  
―人づくりと文化の振興―



史跡中宮寺跡。  
平成28年度も着実に整備をすすめます。

史跡中宮寺跡の整備事業を行うため、引き続き工事を実施します。

（1億1,124万円）

町制70周年記念事業として、これまでの本町のあゆみなどをまとめた記録映像を2か年計画で製作します。

（190万円）

家庭における洋式トイレの普及に伴い、小学校の和式トイレについて、3か年計画で洋式化をすすめます。

（408万円）

ちづくりサミットを開催します。

（80万円）



安心して子どもを産み、親と子がすこやかに暮らすことのできるまちをめざします。

妊娠から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援をはかるため、助産師などが月1回、公共施設（東西公民館）に向いて乳幼児相談を行います。

（33万円）

妊娠から子育て期にわたるまでのさまざまな悩みなどに円滑かつ継続的に対応するため、保健センターで助産師などが相談支援を実施します。

（75万円）

## 2

**すこやかに生き生き  
くらするまちづくり**  
―保健・福祉・医療の充実―

スマートフォンを活用し、子育て支援に関する効果的な情報発信をはかるため、妊娠前から小学校就学前の子育て家庭を対象とした子育て応援アプリシステムを導入します。

(664万円)

中学校修了までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の経済的な負担を軽減します。

(1億円)



子育て支援講座のようす。住民、事業所、行政などが協働して、子どものすこやかな成長、発達を支えます。

子どものすこやかな成長を促すため、情緒面や言語面における経過観察児に対し、臨床心理士による相談などを実施し、適切な支援につなげます。

(68万円)

高齢者の健康増進のため、これまでの高齢者優待券に加えて、「すこ

やか斑鳩・スポーツセンタートレーニング機器利用券」も選択できるようにします。

(1,689万円)

利用者が可能な限り在宅で要支援状態の維持・改善をはかり、要介護状態となることを予防し、自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成を行います。

(1,117万円)

家族が不在時の入院において、重度身体障害を抱える患者と病院などとの円滑な意思疎通のため、病院にヘルパーの派遣を行い、その費用を負担します。

(8万円)



高齢者が健康で、充実した毎日を送ることのできる社会をめざします。

### 3

## 潤いのある

## 魅力的なまちづくり

### 都市環境の整備

本町に適した公共交通を確保するため、平成27年度に策定したコミュニティバス実証運行計画に基づき、10月を目前に実証運行を開始します。

(H27補正…2,384万円)



コミュニティバスは、現行の1台体制から2台体制へ拡充します。

橋りょうの状況を把握するための定期点検をすすめるとともに、平成28年度では、米壽橋補修工事を行います。

(2,850万円)



富雄川にかかる米壽橋。幸前2丁目と高安1丁目を結んでいます。

誰もが安全、快適に移動できる総合的なバリアフリーの整ったまちづくりをすすめるため、「斑鳩町バリアフリー基本構想」の策定などを3か年計画で実施します。

(500万円)

歴史的風致維持向上計画の着実な推進に向けて、歴史的な町並みを維持しながら周囲と調和した修景整備の支援を行います。

(3,698万円)



修景整備支援の利用により、昔ながらの佇まいを残した造りになっています。

「いかるが溜池」において、水辺を生かした親水性や新緑性を高めた散策ルートや公園整備を、引き続き県営事業としてすすめます。

(2669万円)

4

安全で快適な  
まちづくり  
—生活環境の整備—

災害発生時に備えて食糧などの備蓄を計画的にすすめるとともに、新たに女性用品の備蓄を行います。

(500万円)



法隆寺での避難訓練のようす。地域防災力の向上をはかります。

多発する高齢者の自動車交通事故を防ぐため、運転免許証を自主返納した高齢者にICOCAカードを配布し、公共交通機関の利用を支援します。

(396万円)

脱焼却・脱埋立てをめざすゼロ・ウェイストの考え方への転換を周知するとともに、ごみ質検査を実施し、結果を周知することで、ごみの分別・資源化の推進をはかります。また、食べ残しなどの割合を調査する「食品ロス検査」や、衛生処理場焼却棟跡地を利用したごみ分別体験を実施します。

(1771万円)

循環型社会を形成するためバイオマスの利活用の推進をはかるとともに、生ごみ分別収集地域の拡大に対応するため、生ごみ収集運搬業務を民間委託します。

(1,399万円)

衛生処理場焼却棟の解体撤去工事について、焼却棟本体などの解体撤去が完了したことから、跡地の整地などをすすめます。

(8,519万円)



毎年開催しているごみ減量と住民のみならず、環境保全に取り組むためのフェア。

町内の浸水被害軽減を目的に、農地に一時的に雨水を貯める機能を備えつける田んぼダムの整備を、県営事業として実施します。

(2556万円)

集中豪雨による河川への雨水の流出を抑制するため、引き続き東町池流域貯留浸透施設整備工事を実施します。

(6,500万円)

5

活力とにぎわいのある  
まちづくり  
—産業・観光の振興—

若者や子育て世代をはじめとする幅広い年齢層の就労と地域産業の担い手を確保し、就労支援やテレワークなどの多様な働き方の実現を推進するため、(仮称)創業支援センターの整備を行います。

(600万円)

日本全国の寺社仏閣を中心に発展してきた門前町をもつ自治体などによる地域活性化やまちづくり推進をはかるため、町制70周年プレイベントとして「第14回全国門前町サミットin斑鳩」を本町で開催します。

(H27補正：400万円)



平成27年度からスタートしたツデーウォークは、平成28年度も開催します。

観光客と地域住民が交流し、観光産業の魅力を1週間継続して発信するイベント「いかるがWeeeeK」を実施します。

(H27補正：500万円)

本町における観光施策の今後の展開の方向性を定めた(仮称)観光戦略を策定します。

(H27補正：1,350万円)



聖徳太子市では、集まったゆるキャラたち全員でダンス！

農業の担い手に集中する水路・農道などの管理を地域で支え、農地集積を後押しするため、多面的機能を支える共同活動を支援するとともに、地域資源の質的向上をはかる共同活動を支援します。

(610万円)

農業基盤の総合的な整備をすすめるため、農道の整備を行います。

(1,799万円)

**6**  
**ともに築く**  
**協働のまちづくり**  
**― 地域自治の強化 ―**

個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して、全国のコンビニエンスストアの店舗内に設置されているマルチコピー機から、町内で発行している各種証明書の交付を受けられるサービスの導入をすすめます。  
 (4,300万円)

斑鳩町協働のまちづくり指針に掲げる支援制度の具体化に向けた取り組みとして、新たに住民活動団体を支援する「活動提案事業補助金」を創設します。  
 (158万円)



斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業・選考委員会のようす。ここから新たなまちの住民活動が生まれます。

住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、住民団体の活動拠点として生き生きプラザ斑鳩に住民活

動センターを設置します。

(180万円)

今後の急激な人口減少や厳しい財政状況をふまえ、公共施設など全体の状況を把握し、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うため、「斑鳩町公共施設等総合管理計画」を策定します。  
 (340万円)

番号法に規定される特定個人情報との連携開始に向け、情報セキュリティ対策の強化などを実施します。

(H27補正：2,659万円)

中学1年生を対象に、機能的・効果的な運動や運動習慣の大切さを学ぶ機会づくりとして、大学の専門性を活用した指導などを行い、生徒の体力向上をはかります。  
 (300万円)



官学連携事業として行われた畿央大学による特別講座のようす。

**第4次斑鳩町総合計画（後期基本計画）がスタートします**

斑鳩町では、平成23年3月に、まちづくりの基本的な方向性を示す基本構想（計画期間：平成23～32年度）と、前期基本計画（計画期間：平成23～27年度）を策定しました。昨年度末で、前期基本計画の計画期間が終了することから、変化する社会情勢に対応しつつ、住民と行政の協働によるまちづくりを着実にすすめるため、後期基本計画（計画期間：平成28～32年度）を策定しました。

後期基本計画では、引き続き、まちの将来像「ともに生き、ともに育むまち 歴史と文化がくらしの中心に息づく、新斑鳩の里」の実現をめざし、6つの基本施策を柱に推進していきます。

後期基本計画からの新たな取り組みとして、「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略（左参照）」に掲げられた人口減少抑制対策や観光振興、産業活性化・創業支援などがあります。また、社会保障・税番号制度の導入、女性活躍推進法の成立、空家対策など、法律・制度の変更や時代の要請に応えるために、取り組みの変更や新規追加をしています。

**「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは??**

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略として、平成28年3月に「斑鳩町人口ビジョン」および「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。「斑鳩町人口ビジョン」で示された斑鳩町の人口の現状と将来展望をふまえ、「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口減少を克服し将来にわたって活力ある地域社会を実現するための5か年計画を提示しています。

これらの計画は、町ホームページやまちづくり政策課窓口で閲覧できます。

**問合せ**

まちづくり政策課（公内線214）



町総合計画審議会から後期基本計画案の答申を受けました。  
 (左：小城町長、右：麻生会長)